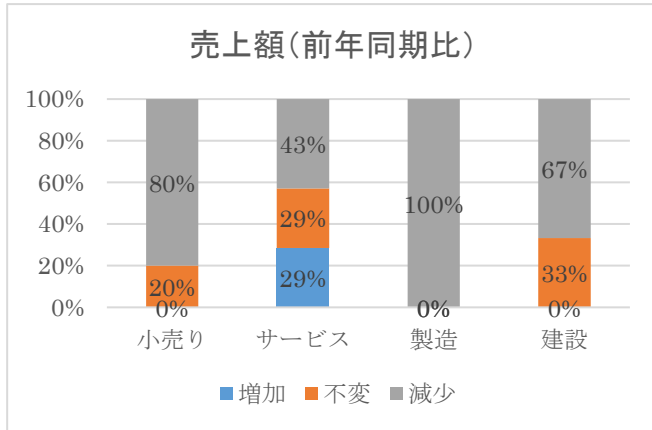


門前町商工会小規模事業者景況調査結果（調査期間：令和3年10月～12月）

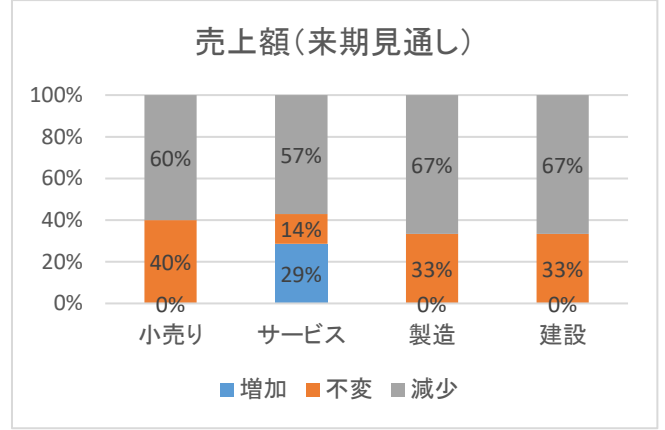
- ・前年同期比は、今期と令和2年10月～12月との比較
- ・来期見通しは、当期と比較した令和3年1月～3月の見通し
- ・対象企業：小売業5社、サービス業7社、製造業3社、建設業3社

1. 令和3年10月から12月期の状況

（1）売上額

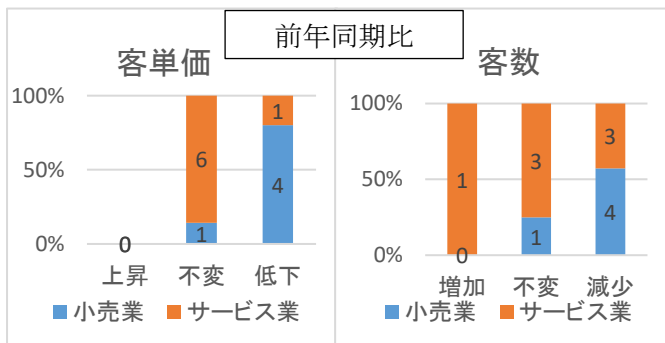


いずれの業種も減少したと回答した企業があるが、増加と回答したサービス業もあった。

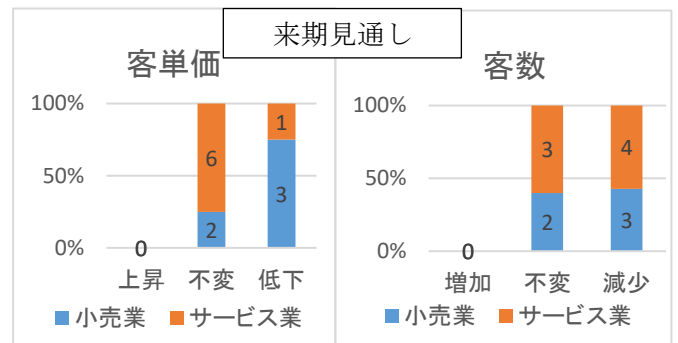


見通しについても、減少とした企業が全業種にあるが、増加と回答したサービス業もある。

（2）小売業、サービス業の客単価・客数

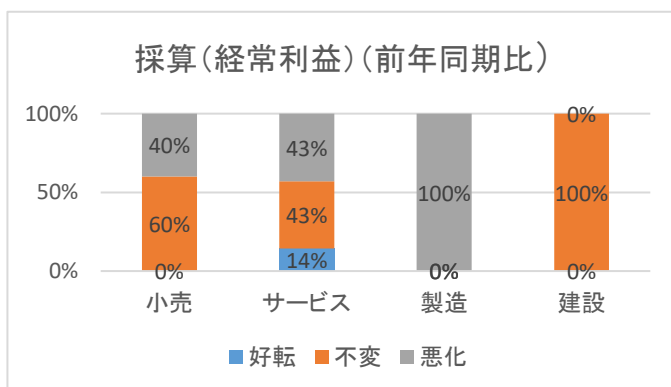


小売業、サービス業とも、客単価の上昇無し。客数では、増加はサービス業のみあった。

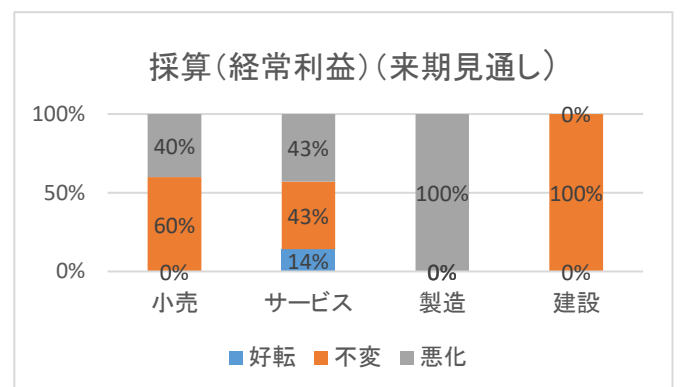


来期見通しについては、客単価、客数とも上がると回答した企業はない。

（3）採算（経常利益）

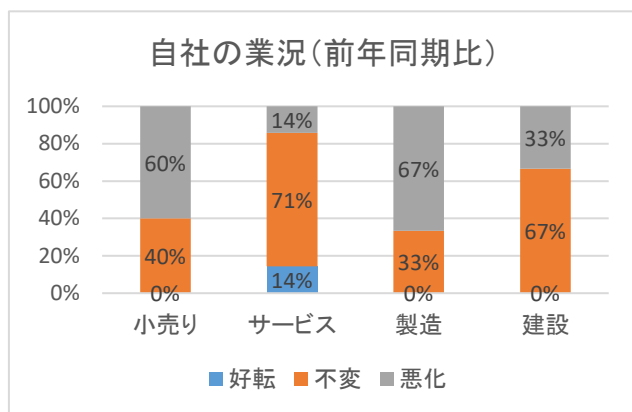


前年同期と比べ、サービス業のみ好転があり、製造業は悪化と全企業が回答した。

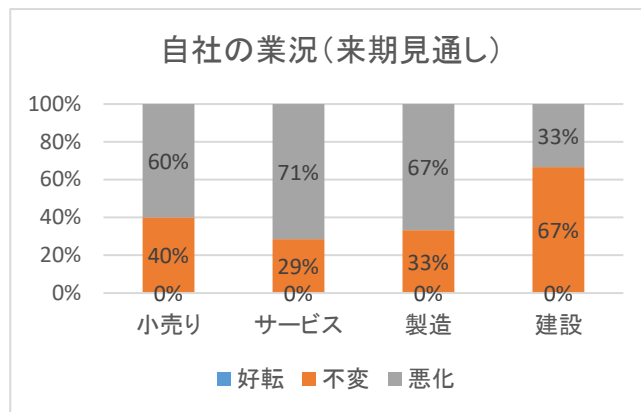


来期見通しでは、製造業で全企業が悪化と予想している。

（４）景況



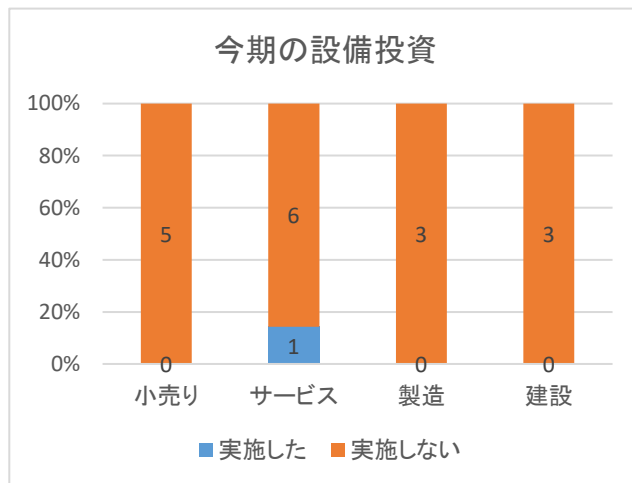
サービス業のみで好転したと回答した企業があったが、全体として不変が約 37% 多かった。



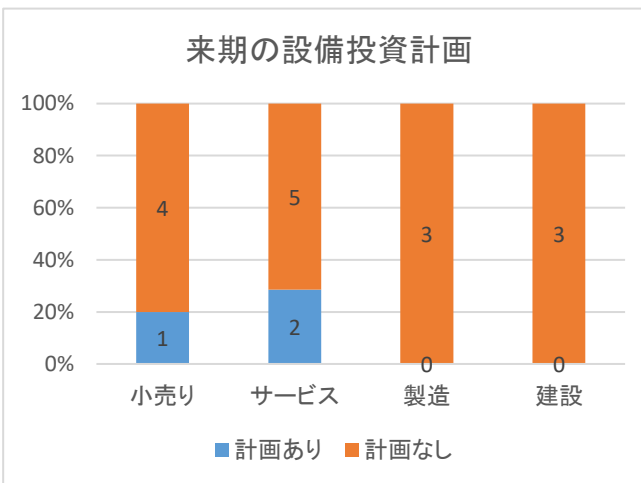
来期見通しでは、好転と予測した企業は無く、全体として悪化するが約 60% 多く、厳しい予測が広がっている。

２．設備投資の状況

（１）設備投資の実績と計画



サービス業のみ、設備投資が実施された。



小売業とサービス業で、設備投資計画がある。

（２）設備投資の内容

（今期の実績）

- ・ サービス…ＯＡ機器

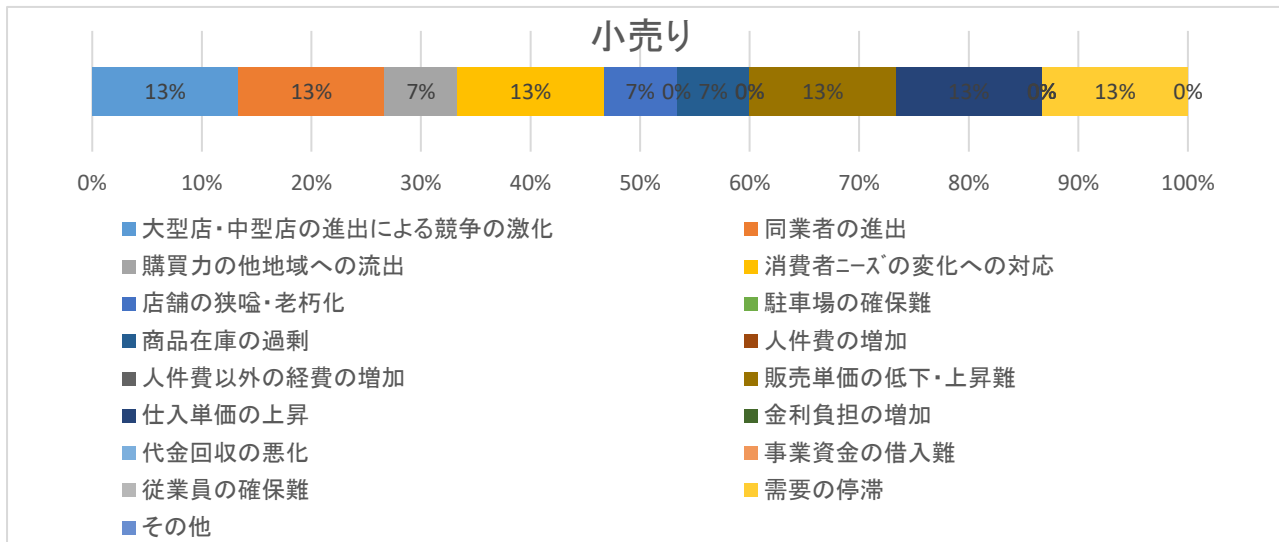
（来期の計画）

- ・ 小売…車両・運搬具
- ・ サービス…車両・運搬具、ＯＡ機器

3. 今期直面する経営課題

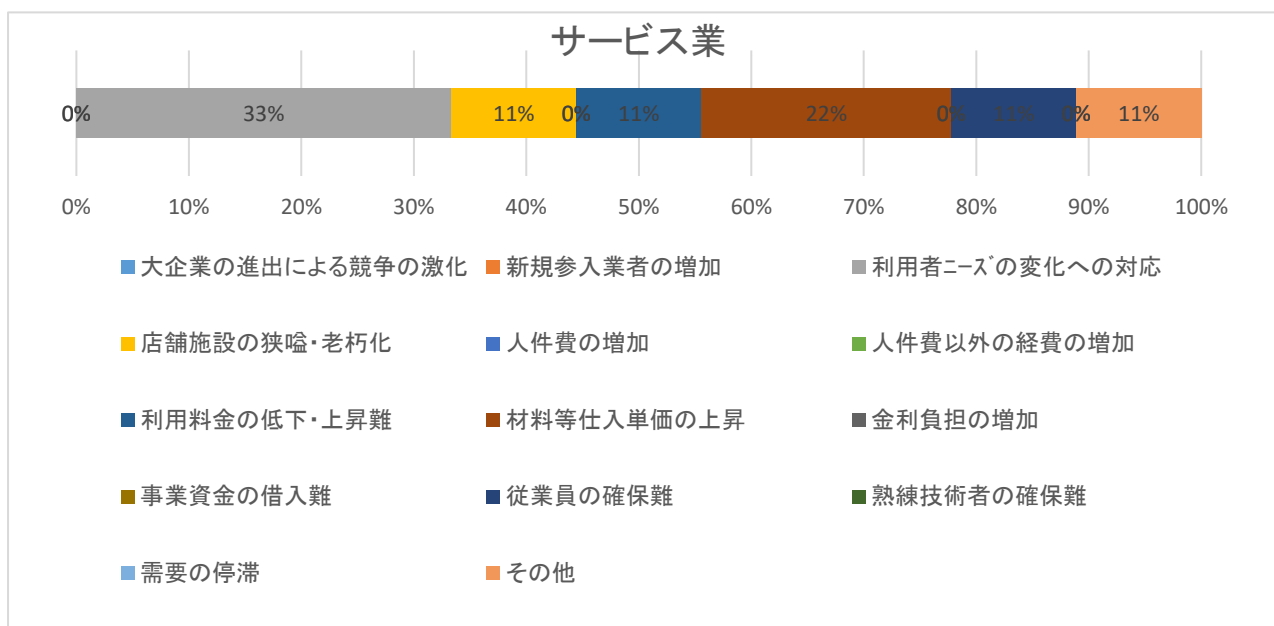
※複数回答

(1) 小売業



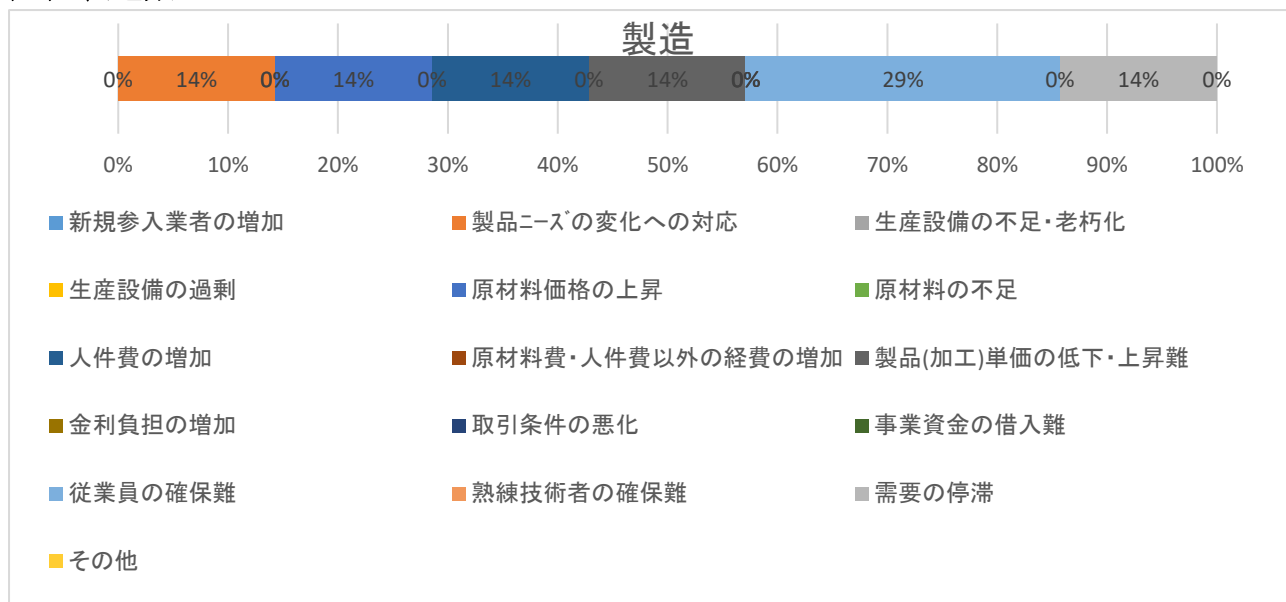
大型店・中型店の進出による競争の激化、同業者の進出、消費者ニーズの変化への対応、販売単価の低下・上昇難、仕入単価の上昇、需要の停滞が13%の同率で5つ、購買力の他地域への流出、商品在庫の過剰が7%の同率で3つの経営課題を上げている。

(2) サービス業



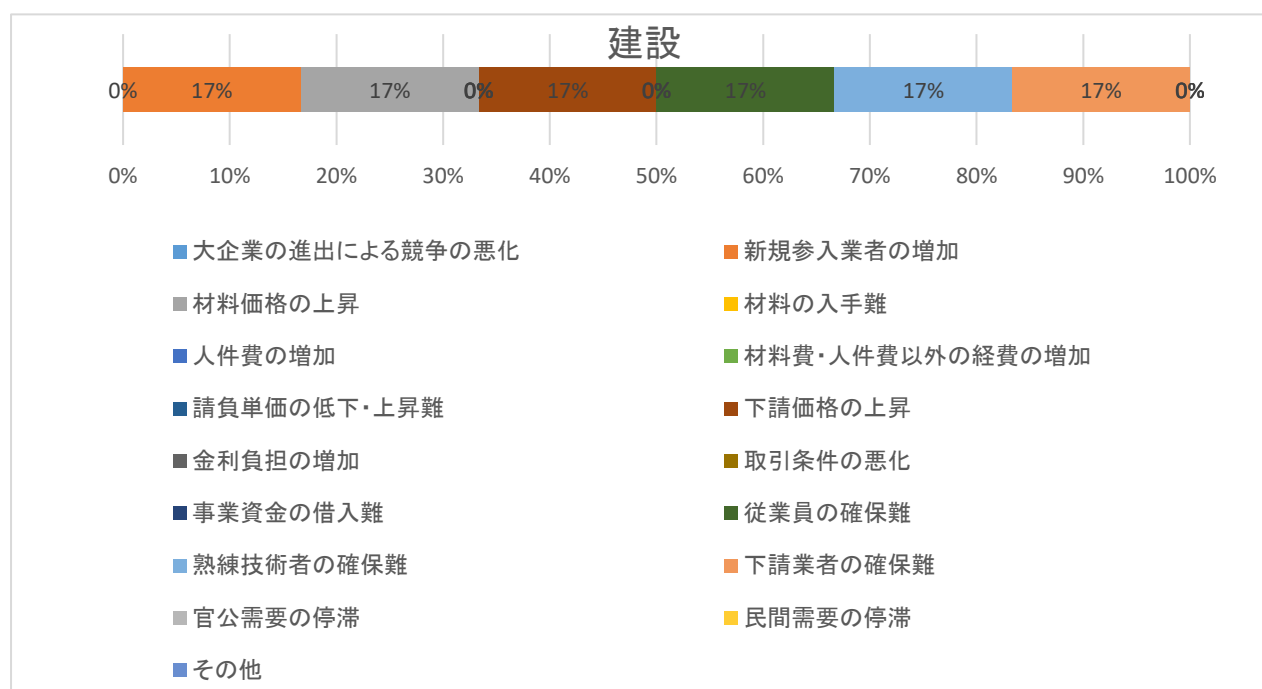
利用者ニーズの変化への対応が33%で最も高く、続いて材料等仕入単価の上昇が22%、店舗施設の狭隘・老朽化、利用料金の低下・上昇難、従業員の確保難、その他で11%で同率の4つの経営課題をあげている。

(3) 製造業



従業員の確保難が29%で最も高く、製品ニーズの変化への対応、原材料価格の上昇、人件費の増加、製品（加工）単価の低下・上昇難、需要の停滞が14%で同率の5つの経営課題を上げている。

(4) 建設業



新規参入業者の増加、材料価格の上昇、下請価格の上昇、従業員の確保難、熟練技術者の確保難、下請業者の確保難が17%で同率の6つの経営課題を上げている。

4. 今期の業況、感じていること

- ・業況は、最悪ではないが良くも悪くもない。資金の動きを細かく見て行かなくてはならない。仕事が減少しても経費は比例しない部分もある。
- ・少しずつお客様の動きが戻って来てる様な気配があるが、数字で表せる程の動きではない。
- ・コロナ感染が落ち着いていたので、人流が回復したことに起因します。
- ・従業員の確保に苦慮している。

- ・消費者はインターネットで購入する人が増えている。店からの発注量が減っている。